

P. G. C. D.

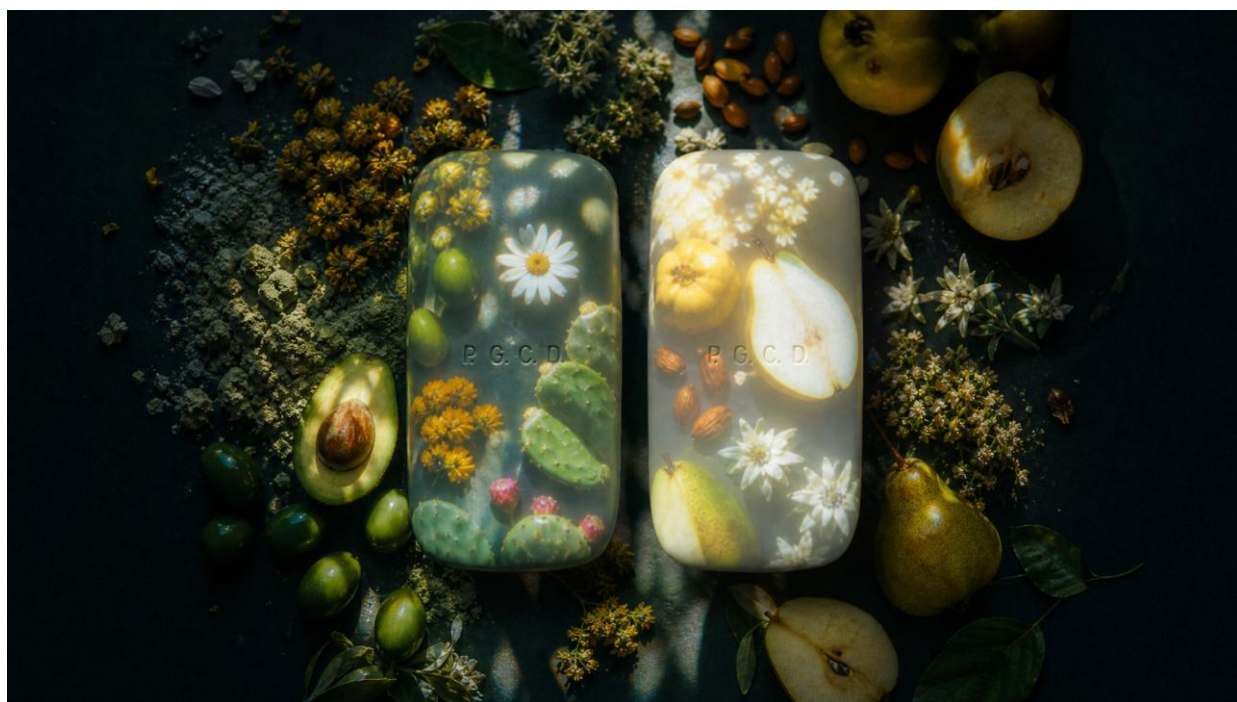
PRESS RELEASE

2026 年 9 月 1 日

株式会社 P.G.C.D. JAPAN

P.G.C.D. JAPAN、社外役員にヘルスケアマネジメント協会代表の振本恵子氏が就任

- 「ミル」と「キク」の独自メソッドで日常の会議動画を分析・改善。
2029 年までの「健康経営優良法人認定」と、共同事業による新会社設立を視野に入れた組織変革へ



「オーガニックビューティ」を掲げ、人が社会的なメイクのプレッシャーから解放され、自らの内なる自然な美しさを育む社会の実現を目指す、株式会社 P.G.C.D. JAPAN（本社：東京都港区、代表取締役：野田泰平）は、2026 年 9 月付で、一般社

団法人ヘルスケアマネジメント協会 代表理事の振本恵子氏を社外役員（組織開発・健康経営顧問）としてお迎えしたことをお知らせいたします。

今回の就任に伴い、P.G.C.D. JAPAN は日常の会議の動画・音声データを活用し、組織の内側から健やかさを体現する「本当の意味での健康経営・会議改革」に着手します。マイルストーンとして【2029 年までの健康経営優良法人認定の取得】を掲げ、社内の心理的安全性を客観的データから評価・改善する体制を構築。さらに将来的には、この社内実践をベースに AI テクノロジーと人間心理の解釈を融合させ、世界中の組織を健やかにする「日本流の社内会議改革」の新サービスの共同開発、および【共同事業としての新会社設立】も視野に進めてまいります。



■ 本取り組みの背景：日常の「会議」に潜む組織の課題

多くの企業において、研修室でどれだけ優れたマネジメント論を学んでも、翌日の現場の会議が「独演会」や「威圧の場」になっていては何の意味もありません。会議は組織文化の縮図であり、企業が持つパワーダイナミクス（力関係）が如実に現れる場所です。日常の会議に潜む「冷笑」「無視」「ロジックによる追い詰め」といった微細な言動こそが、のちの重大なハラスメントや社員の思考停止の温床（芽）になります。

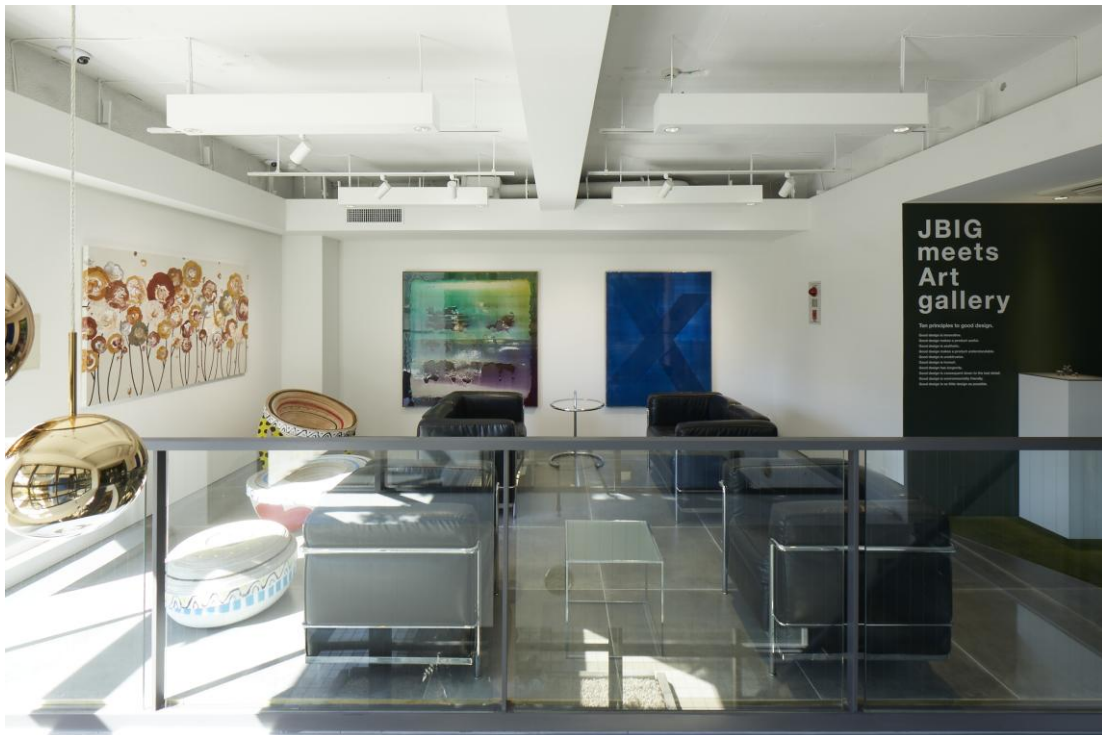
P.G.C.D. JAPAN では、この「日常の会議という現場の動画・音声」を鏡（リフレクター）として客観的に振り返ることで、無自覚な過干渉を排し、上司のファシリテーション変革と部下の能動性を引き出す組織開発アプローチを実践します。代表の野田自身が自らの姿を省み、心理的安全性を阻む見えない壁を取り払うことから、真の組織変革・社会変革をスタートさせます。

■ 「ミル」と「キク」のスペシャリスト・振本恵子氏の独自メソッド

振本氏は、医療・教育・健康経営の最前線で重ねてこられた経験から、人間心理や組織の力学を多角的に捉える「ミル」と「キク」の圧倒的なスペシャリストです。

今回の会議改革において、振本氏は日常の会議動画からメンバーの微細な言動や関係性を独自のメソッドで分析し、会議の改善、さらには組織全体の根本的な改善へと活かしていきます。

- **多角的に「ミル」**：医療・教育・経営の現場で培われた、見（見る）、観（観る）、視（視る）、診（診る）、看（看る）、察（おもんばかり）という多層的なアプローチで、動画に映るバイアスや組織の心理状態を看破します。
- **深く「キク」**：表面的な発言を捉える「聞（聞く）」、相手の心に寄り添い本音を汲み取る「聴（聴く）」、および課題の本質を鋭く問い出す「訊（訊く）」を組み合わせ、冷徹なデータに命を吹き込みます。



【全レイヤーを横断する「公平な指導」と組織変革】

本取り組みの最大の特徴は、経営陣へのフィードバックに留まらない点にあります。

振本氏は、経営者、役員、マネジメント層、あるいは一般職まで、すべてのレイヤーに対して公平に直接指導・面談を行います。

- **上から（トップダウンの意識変革）**：代表や役員の無自覚な「畏怖の念」や「壁」を直視させ、ファシリテーションを物理的に変革します。
- **下から（ボトムアップの能動性育成）**：一般職の心理的安全性を構築し、委縮や思考停止を排して能動性を引き出します。

- **横断型（フラットな組織文化の醸成）**：全社共通の「心理的安全性」の基準を浸透させ、部門や職位を超えた健やかなコミュニケーションを実現します。

この多角的なアプローチにより、組織を全方位から、かつ地続きで変革していきます。



P. G. C. D.

■ 未来のロードマップ：2029 年認定取得から「共同事業・世界変革構想」へ

本取り組みは、一企業の社内改善に留まりません。P.G.C.D. JAPAN をファーストクライアント（実験台）としてこの手法を磨き上げ、以下のロードマップに従って「日本流の社内会議改革」で世界中の組織を健やかに変えるソリューションへと昇華させ、双方の強みを活かした共同事業としての新会社設立も視野に進めてまいります。

1. 【Phase 1】自社での実践と「健康経営優良法人認定」の取得（～2029 年）

振本氏の指導のもと、日常の会議改革を徹底。組織の健やかさを客観的に証明するステップとして、2029 年までに「健康経営優良法人認定」の取得を目指します。

2. 【Phase 2】AI テクノロジーとの融合によるシステム構築（～2030 年）

動画・音声から「人の表情」「間」「言葉のデシベル（声量）」「波長（トーン）」「目線」などを緻密に分析し、高度な人間心理を解釈するシステムを構築。ブラックボックス化しがちな組織の心理状態を科学します。

3. 【Phase 3】共同事業としての新会社設立とグローバル展開

この「会議動画から変える組織変革ソリューション」を世界展開するため、共同事業としての新会社設立を視野に入れます。将来的には振本氏にその代表（社長）としての舵取りを志向。早期の規模拡大を目指し、日本を代表する女性起業家・経営者として大手・先進企業へこのソリューションを伝播させていく未来を描いています。

■ 両代表からのコメント

株式会社 P.G.C.D. JAPAN 代表取締役 野田 泰平 のコメント



「代表である私自身の存在が、知らず知らずのうちに会議の心理的安全性を阻むパワーになってしまっているのではないかと。振本様からいただいた実直なフィードバックは、その自覚を促す鏡となりました。振本様が持つ『ミル』『キク』という圧倒的な実践知と、経営者から一般職までをフラットに包み込む公平な指導力があって初めて、動画という冷徹なデータに『命』が吹き込まれます。まずは私たちの会議を上から下から横断型で変革し、2029 年までの健康経営優良法人認定を確実に達成します。商談や対話の既存ツールにはない本質的なアプローチを AI と融合させ、世界中の組織を健やかにする『日本流の社内会議改革』の新サービスへと昇華させ、共同事業としての新会社設立も視野に、共に世界変革へ挑みたいと考えています。」

■ 会社概要

【株式会社 P.G.C.D. JAPAN】

- ◆ 代表者：代表取締役 野田 泰平
- ◆ 所在地：東京都港区
- ◆ 事業内容：化粧品・医薬部外品の企画・開発・販売、有機食品・こだわり食品の企画・開発・販売
- ◆ URL：<https://www.pgcd.co.jp/>

一般社団法人ヘルスケアマネジメント協会 代表理事 振本 恵子 氏 のコメント



「野田代表の、自らの姿を省みて組織を根本から変えようという強い覚悟と情熱に深く共鳴いたしました。単なる書類上の『健康経営』ではなく、日常の会議という最も身近な現場から心理的安全性を創出していく試みは、非常に本質的です。経営層から一般職まで、すべてのメンバーと実直に向き合い、独自のメソッドを用いた『ミル』と『キク』のアプローチで、人と組織が心から動かされる変革をサポートしてまいります。2029 年の認定取得、そしてその先にある世界中を健やかにする共同事業の創出へ向けて、共に歩んでまいります。」

■ 会社概要

【一般社団法人ヘルスケアマネジメント協会】

- ◆ 代表者：代表理事 振本 恵子
- ◆ 事業内容：健康経営の推進、ヘルスケア人材の育成、各種コンサルティング
- ◆ URL：<https://www.hecm.jp/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 P.G.C.D. JAPAN 広報担当：加藤

TEL：03-5464-3623 Email：rkato@pgcd.jp